

氏名	乙津 真由美
よみ	おとず まゆみ
英字	Otozu, Mayumi
オフィスアワー	授業日の12:15～13:00 2号館2階 研究室4 上記の時間以外の希望があればメールotozu@mizuho-c.ac.jpにて予約をしてください。
プロフィール	岐阜県立高等学校教諭 (平成元年から平成23年3月まで) 岐阜県教育委員会事務局学校支援課 課長補佐 (平成27年3月まで) 岐阜県立特別支援学校 高等部主事 (平成29年3月まで) 岐阜県立高等学校 教頭 (令和2年3月まで) 岐阜県教育委員会事務局教育管理課 地域管理監 (令和3年3月まで) 岐阜県立高等学校 校長 (令和5年3月まで) 岐阜県立高等特別支援学校 校長 (令和7年3月まで)
職位	生活学科 特任教授
最終学歴	椋山女学園大学家政学部食物学科食物学コース 卒業
学位	学士 (家政学)
所属学会・役職	
専門分野	
研究テーマ	
主な教育・研究及び社会的活動及び業績	高等学校教諭として主に普通科の「家庭総合」「家庭一般」の教科指導を行った。 「人の一生と家族・家庭」では人の一生を生涯発達の視点でとらえ、青年期の生き方を考えさせるとともに、家族・家庭の意義や家族・家庭と社会のかかわりについて理解させ、男女が協力して家庭を築くことの重要性について認識させる指導を行った。 「子どもや高齢者とのかかわりと福祉」では子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉などについて理解させるとともに、様々な人々に対する理解を深め、障害を通してともに支え合って生きることの重要性や家族及び地域や社会の果たす役割について認識させる指導を行った。 「生活における経済の計画と消費」では生活における経済の計画、消費者問題や消費者の権利と責任などについて理解させ、現代の消費生活の課題について認識させるとともに、消費者としての適切な意思決定に基づいて、責任をもって行動できるよう指導を行った。 「生活の科学と環境」では生涯を見通したライフステージごとの衣食住の生活を科学的に理解させ、先人の知恵や文化に関心を持たせるとともに、持続可能な社会を目指して資源や環境に配慮し、適切な意思決定に基づいた消費生活を主体的に営むことができるよう指導を行った。食分野に関する内容では栄養、食品、調理及び食品衛生などについて科学的に理解させ、食生活の文化に関心をもたせ必要な知識と技術を習得して安全と環境に配慮し、主体的に食生活を営むことができるよう指導を行った。 高等学校教諭として生活福祉科の食分野の科目を担当した。科目として「フードデザイン」では、健康と食生活のかかわりについて理解させるとともに、豊かな食事を構成する要素として栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネイトなどに関する知識と技術について指導し、実習を通して食生活を総合的にデザインする能力と実践的な態度を育成した。 「食文化」では、食文化の成り立ち、日本と世界の食文化などに関する知識と技術を習得させ、食文化の伝承と創造に寄与する能力と態度を身に付ける指導を行った。 「調理」では様式別調理、大量調理などに関する知識と技術を習得させ、調理をとおして健康の維持・増進に寄与する食生活の充実向上を図る指導を行った。 「栄養」では栄養素の機能と代謝、各ライフステージにおける栄養、労働・スポーツと栄養などに関する知識を習得させ、健康の維持・増進を図る能力と態度を育成した。 「食品」では食品の分類とその特徴、食品の表示、食品の加工と貯蔵などに関する知識と技術を習得させ、食品を適切に選択、活用して食生活の充実向上を図る指導を行った。 「食品衛生」では食生活の安全と食品衛生対策など食品衛生に関する知識と技術を習得させ、安全で衛生的な食生活に寄与する能力と態度を身に付ける指導を行った。

「課題研究」では生活産業の各分野に関する課題を設定しその課題の解決策を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力の自発的、創造的な学習態度を育てる指導を行った。

第57回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会において文部科学大臣賞（最優秀賞）を受賞。「地産地消～コメにこめた故郷の未来～」のテーマのもと地場米ハツシモを中心とする地産地消を研究の柱に食生活の改善と地域の活性化を目指して3年にわたる研究・実践活動の取組が認められ最優秀賞を受賞した。

第47回高校生による食生活改善研究活動「I&YOU食生活」において「広めよう!MY・米生活」をテーマに研究成果を発表した。

海外派遣産業教育事情研修に参加し、スウェーデン、ドイツにおいて専門教育に関する学校を視察し教育関係施設設備において研修を行った。

岐阜県教育委員会事務局学校支援課指導主事として教育課程講習会講師を務め新学習指導要領の趣旨や教育内容の主な改善事項について説明を行った。また教育委員会の事業である「専門高校生地域連携推進事業」の主務者として生活産業学科の研究指導を行った。

家庭科指導主事として高等学校教育研究会家庭部会支部研究にて各地区の研究活動の指導・助言を行った。平成23年の食分野では「健康で安全な食生活を目指し、より豊かな食生活を営む力の育成」～自らの食生活を見つめ、実践的に課題を解決できる指導の工夫～の研究について指導助言を行った。

平成24年の食分野では「健康的な生活を主体的に営む力を育てる指導方法」と題したテーマのもと研究が行われ指導助言を行った。

岐阜県高等学校教育研究会家庭部会支部研究にて指導主事として各地区の研究活動の指導・助言を行った。